



Document type: Policy	Issue no.: 3.0	Decided date: 2025-08-21	ID no.: HOGANAS-1814020271-265
Valid for: Group	Position Issuer: VP Group Sustainability		
Title: Environmental and Climate Policy (Japanese version)	Position Approver: Board		

環境および気候に関する方針

方針の目的と範囲

Höganäsは、環境に配慮したセラミックおよび金属粉ソリューションのリーディングプロバイダーになることを目指しています。「環境および気候に関する方針」は、環境保護、気候変動対策、エネルギー使用方法、エネルギー効率、持続可能な開発に対するHöganäsの全体的な原則とコミットメントを定義しています。これは、Höganäsの世界中のすべての事業に適用され、環境およびエネルギー管理システム、ならびに環境保護と気候影響軽減に関連する戦略的意思決定を導きます。Höganäsは国連グローバル・コンパクトに署名し、人権、労働、環境、腐敗防止に関する原則に全面的に取り組んでおり、これらの原則をHöganäsの戦略と運営に組み込んでいます。

Höganäsのコミットメント

1. 環境保護と気候変動に対する責任を果たす

Höganäsは、バリューチェーン全体で環境と気候への影響を最小限に抑えることで、環境保護に取り組んでいます。これには、排出量の削減、資源の節約、事業のあらゆる側面における生物多様性保全、リソース循環経済の促進が含まれます。¹

Höganäsは、当社の戦略に沿って構造化されたプロセスを通じて、環境と気候の目標を設定し、レビューします。Höganäsの目標は、定義された KPI を通じて重要性、リスク、利害関係者のインプットに基づく進捗状況が追跡され、事業計画に統合されます。

2. 科学に基づく気候変動対策

Höganäsは、温室効果ガス排出量のネットゼロを達成するため実証済みの科学的根拠に基づく目標を採用します²。Höganäsは、ネットゼロ達成の最前線に立つために、次のような目標を追求しています。

- スコープ 1 および 2 : 2030年までにネットゼロを達成
- スコープ 1、2、3（上流） : 2037年までにネットゼロを達成

Höganäsは、すべての生産施設で再生可能および / または化石燃料フリーの電力を使用し、高いエネルギー効率を実現するプロセスを設計しています。

3. エネルギー管理とパフォーマンス

Höganäsは、主要なエネルギー使用を特定し、測定可能な目標を設定し、エネルギー効率を業務に統合することで、エネルギーパフォーマンスを継続的に改善することに取り組んでいます。

¹Höganäsの活動の性質とバリューチェーンにおける活動に応じて、関連する環境への影響には、水の使用と排水、大気中への物質放出、土壌品質、土地利用と森林破壊、騒音排出、廃棄物の発生と管理、動物福祉などが含まれます。

² 「ネットゼロ目標 Höganäs AB は、2018 年から 2040 年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量をネットゼロにすることを約束しています。中期目標 Höganäs AB は、2018年の基準年から 2030年までにスコープ 1 と 2 の絶対温室効果ガス排出量を 51%削減することを約束しています。Höganäs AB は、購入した商品やサービス、上流の輸送と流通、出張からの絶対的なスコープ 3 温室効果ガス排出量を同じ期間内に 30% 削減することにも取り組んでいます。」 <https://sciencebasedtargets.org/target-dashboard>



Document type: Policy	Issue no.: 3.0	Decided date: 2025-08-21	ID no.: HOGANAS-1814020271-265
Valid for: Group	Position Issuer: VP Group Sustainability		
Title: Environmental and Climate Policy (Japanese version)	Position Approver: Board		

す。Höganäsは、エネルギーの消費量を監視し、効率的な技術を適用し、エネルギー使用と排出量を削減するためのベストプラクティスを推進します。

4. リソースの循環と資源効率性

Höganäsは、スラグやろ過粉塵などの副流をリサイクル、再利用、転用することで、採掘資源の必要性を削減することを目指しています。Höganäsは、開発と製造において循環型経済の原則を推進しています。

5. 化学物質および危険物質

Höganäsは、危険物質の使用を削減し、非常に懸念度の高い物質 または高懸念度物質を段階的に廃止することに取り組んでいます³。Höganäsは化学物質の選択に厳格な基準を適用し、人体の健康と環境を保護するために、より安全な代替品を継続的に評価しています。

6. バリューチェーンエンゲージメント

Höganäsは、サプライヤーと協力して、環境や気候への影響を最小限に抑え、責任ある原材料の調達と輸送を保証します。また、Höganäsは、効率的で耐久性に優れ、環境への影響が少ないソリューションを通じて、お客様が環境への影響を低減できるようサポートしています。

7. 法規制へのコンプライアンス

Höganäsは、事業を展開するあらゆる場所で、適用されるすべての環境法および規制を遵守します。Höganäsは予防原則を適用し、イノベーションとステークホルダーからのフィードバックを通じて環境目標、慣行、パフォーマンスを定期的に見直し、改善することで、継続的な改善に取り組んでいます。

8. 気候リスクと生物多様性

Höganäsは、事業の回復力を確保するために、気候関連のリスクと機会を評価し、対処します。Höganäsは、責任ある土地と水の使用、持続可能な調達、生息環境の保全を通じて、生物多様性を保護し、環境フットプリントを最小限に抑えることに取り組んでいます。Höganäsは、事業の生物多様性への影響を評価し、ステークホルダーと協力して地域の生物多様性イニシアチブを支援します。

9. ステークホルダーのエンゲージメント

Höganäsのポリシーは、オーナー、顧客、従業員、サプライヤー、コミュニティ、その他の関連グループを含むステークホルダーの期待に基づいています。Höganäsは、環境への取り組みで透明性、関連性、影響力を維持できるように、積極的にステークホルダーと関わっています。

³高懸念物質（SVHC）とは、EU REACH 規制（化学物質の登録、評価、認可および制限）で「人体の健康または環境に深刻な影響を及ぼすと特定された化学物質を指します。これには、発がん性、変異原性、生殖毒性、持続性、生物蓄積性、内分泌破壊性のある物質が含まれます。「高懸念物質」には、他の規制枠組みまたは同様のリスクに関する科学的評価で定義された物質も含まれる場合があります。



Document type: Policy	Issue no.: 3.0	Decided date: 2025-08-21	ID no.: HOGANAS-1814020271-265
Valid for: Group			Position Issuer: VP Group Sustainability
Title: Environmental and Climate Policy (Japanese version)			Position Approver: Board

10. コンピテンシーと意識

Höganäsは、従業員とパートナーが環境に対する責任を果たすために必要な知識の学習とトレーニングを保証します。継続的な教育は、組織全体で健全な意思決定、エネルギー効率、持続可能な慣行をサポートします。

11. ガバナンスとレビュー

本方針の承認はHöganäs取締役会が行います。Höganäs CEO はグループマネジメントを通じて、この方針をHöganäsの全体的なビジネス戦略に統合します。Höganäsは、「グループ指令 - 環境管理」および「グループ指令 - 気候およびエネルギー管理」を通じて方針を実施し、継続的な関連性、有効性、環境および気候目標との整合性を確保するために定期的に見直しています。